

令和3年度第2回堺市依存症対策推進懇話会 書面聴取者意見一覧

委員名	箇所	意見・質問等	回答
綿野委員	「第1章策定にあたって」	ありがとうございます。とても分かりやすく、要点がまとめられていると思います。	
綿野委員	「第2章堺市の現状と課題」	堺市には依存症対応の専門クリニックが少ないと思う。まして、ネット依存、ゲーム依存に対してのクリニックはあるのか？大阪市内の病院に連絡しても予約待ち、コロナでなかなか受診してもらえない状況で、その課題に対しては、、、	目標にも掲げているように、市内の依存症専門医療機関を充実させていけたらと考えている。また、依存症での治療に対応した専門医療機関については計画の資料編に記載していき、情報が行き渡るように対応する。
綿野委員	「第3章本計画がめざすもの」	依存症から回復していくのは本当に大変なことで、本人もご自身が病気であると知らない方もいると思うので、啓発と連携を大切に、自分達だけで抱え込むのではなく、図のような関わりができるように努力していきたい。	啓発と連携を大切に、本市も計画で記載の通り実現できるよう努めていきたいと考えている。
綿野委員	「第4章取組の推進」	普及啓発や予防に対してのとてもわかりやすかったので、一度ZOOMによる啓発セミナー等を計画してみてもいいか？できることがあれば協力いたします。	ご提案ありがとうございます。こちらも様々な形での啓発を検討しておりまして、その際にはご協力いただくこともあるかと思いますが、どうぞよろしくお願いいたします。
綿野委員	その他、素案全体について	・依存症者が回復してからの就労に対しての皆様の意見が聞きたいです。 ・取り組みの中に早期発見、早期治療という文言が入ってましたが、依存症は他の病気とは違い『わかっちゃいるけど止められない』状態になってしまっているため早期治療をした方が本人も周りの人達も苦しまないのに、、、しかし以前とは違い、国や地域が依存症を理解し、回復へと導こうと考えているのは凄い事だと思います。	
はま委員	案件以外のご意見について	周囲に依存症でなくても生き辛さを抱えている人がいるので、実際どこに繋がったらいいのか、と思います。苦しんでいる方が少しでも前を向けますように。	
小野委員	「第3章本計画がめざすもの」	薬物、ギャンブル、ゲーム、ネット、その他の依存は低年齢化も認められるので、連携機関の中に、教育機関も含めてほしいです。	第2章での検討すべき課題にて、若い世代への予防教育や依存症に対する早期の発見し対処することが重要と記載している。それを受けて第4章の取組みの推進について若者への取組について記載している。これらを実施するためにも教育機関との連携は必須となってくるので、目標にもさまざまな関係機関に教育機関も含めての連携強化をはかっていきたいと考えている。